

2020年8月7日

医学部長 天谷 雅行
医学部国際交流委員会委員長 安井 正人

101回生 短期海外留学プログラム【臨床】

第1回 募集要項

COVID-19の感染拡大により延期されていた、短期海外留学プログラム【臨床】について募集を行います。今回は以下の大学のみ募集を行います。今年度は、受入を再開する大学があり次第、順次選考を行います。

なお、今後の状況によっては、派遣を中止する場合や、実施内容・実施期間を変更する可能性もありますので、予めご了承ください。

- ・カロリンスカ医科大学（スウェーデン） 最大2名
先方受入可能時期:2021年4月～6月初め(大学への応募締め切りは2020年10月15日)
- ・ケルン大学（ドイツ） 最大4名
先方受入可能時期：2021年4月～9月30日（時期については医学部カリキュラムとの調整が必要）

なお、現時点では他の多くの大学が受け入れ再開・時期について未定となっておりますが、以下の大学について下記の連絡を受けています。

- ・King's College London(英国)：少なくとも、2021年8月末までは受け入れ不可
- ・University of Minnesota(米国)：少なくとも、2021年6月末までは受け入れ不可
- ・University of Sydney(オーストラリア)：2021年4月から受入開始検討中、詳細は9月頃に発表予定

1. プログラムについて

①趣旨

義塾医学部が派遣する留学生として、海外大学医学部に短期留学し、指導医のもとで現地学生と同様に臨床実習に従事し、異なる文化社会における医療や医学教育を体験する。近年の派遣先は、北米、欧州、オーストラリア、アジア等、多岐に渡る。

本プログラムは安達正純先生（32回生）および芦刈宏之先生（37回生）らのご尽力によって1984年に開始し、2019年度までの37年間に、567名が派遣されている。

プログラムの参加者は以下の補助を得ることができる。

- ・臨床留学を「地域基盤型臨床実習」の選択肢として単位認定（101回生は未定）
- ・医学部協定校等への推薦。推薦後の連絡、手続、書類作成に関する補助。
- ・渡航費用の一部補助。

プログラムの参加者は以下の活動に積極的に参加しなければならない。

- ・留学前の Preparation Course（医療英語実習）の受講。
- ・義塾医学部 International Student Elective Program を通じて、本学病院での臨床実習を受け入れている海外大学医学部の留学生に関する生活および学習サポート。
- ・義塾医学部で開催される海外交流イベント等への参加や発表。

②留学時期・単位・成績

短期臨床留学は、例年、第5学年第2ローテーション『地域基盤型臨床実習』として単位認定される。しかし2020年度は、時期、単位・成績ともに未定。可能性としては、2021年4月～8月の期間中の4週間、6年生1学期「選択臨床実習」、「内科学臨床実習アドバンスト」の代わりに派遣することを検討している。

留学前の Preparation Course（医学英語、問診やケースプレゼンテーションに関する講義と実習）への参加を必須とする（募集の詳細については別途お知らせ）。

成績は、Preparation Course への出席と評点、留学先指導医による評価、臨床実習ポートフォリオへの経験症例の記録、帰国後の報告書を総合して評価する。留学先指導医による成績表を提出しない場合は単位を認定しない。

③費用補助

プログラムの参加者には留学を奨励するために、補助を行う。補助金額は未定（例年、一人13万円程度）。

2. 応募について

応募期間

8月7日（金）17:00 ～ 8月20日（木）10:00

応募時の英語要件

応募締切時までに TOEFL iBT®80 点以上を取得していること

（留学先へ申請する際には別途スコアの提出、最低基準点が求められるので留意すること。2019年度例：University of Sydney：IELTS 7.0 以上

応募書類

以下①から④の書類を揃え、塾生サイト記載の応募フォームから、記載に不備がないか確認のうえ、提出すること。締め切りを過ぎた応募は受け付けない。

応募フォーム（塾生サイト）：<https://www.students.keio.ac.jp/sn/intl/unique/>

- ① 応募用紙（塾生サイトからDL可 <https://www.students.keio.ac.jp/sn/intl/unique/>）
- ② 志望理由書（和文。A4用紙1ページ、400字以内。形式自由）
- ③ 英文履歴書（形式自由）
- ④ TOEFL スコア（オンラインスコア画面の提出でも可。）

※いずれかの大学への派遣が決まった後に、他の大学の募集が開始された場合、応募することはできません。ただし、派遣予定大学への派遣が不可能と判断された後に、募集中、または募集が開始された大学への出願は認める予定です。

※今回の選考に落ちた方については、以降、別の大学の募集がされた際に、再度応募することを可とします。

3. 学内選考について

日時：①2020年8月31日18時から（英語）

②2020年9月1日17時から（日本語）

方法：オンライン会議（Zoom 使用予定）

対象：医学部5年次在籍者（101回生）

内容：医学部国際交流委員会委員による日本語および英語の面接

選考基準：

- ・ 義塾医学部が派遣する留学生としての資格適否を、学業成績、学習生活態度、志望動機、英語スピーキング能力、TOEFL iBT スコア、その他経済面も含む留学準備の状況等を総合して審査し、派遣の可否を決定する。
- ・ 学生の希望および能力、協定校の受入れ条件および指定人数枠に基づいて、協定校に推薦する候補学生をそれぞれ決定する。

4. 留学までの流れ

選考： 8月下旬～9月上旬

合格発表： 9月上旬

プリパレーションコース： 9月上旬～

出願準備： 各自、必要書類の作成・用意

※準備内容については、別紙「101回生 短期海外留学プログラム【臨床】参加者準備・注意事項」を確認してください（塾生 HP 掲載）

留学先への書類提出：

- ・ カロリンスカ医科大学（2020/10/15 応募書類提出締切り）
- ・ ケルン大学（2020/12/1 大学からの推薦締切り。書類提出締切り日は未発表。ケルン大学のウェブサイトおよび国際担当へ適宜要確認）

留学期間（予定）： 2021年4月～8月の4週間程度

※合格発表後は、直ちに留学先への応募書類の準備を始め、留学先大学の指定する日時までに申請手続きを必ず完了すること。

※英語力、とりわけ Speaking 能力については、現地実習におけるコミュニケーションに重要であるため、留学時には TOEFL スコア 100 点程度の英語力を有することを目指して各自が十分に準備する必要がある。

また、派遣先の施設においては、患者さんのファーストタッチから学生が責任を持ってやらされることが多く、TOEFL よりさらに高度な医学分野での英語力を身につけていないと、十分な成果をあげられない。留学する学生は、プリパレーションコースはもちろん、学生同士の勉強会や、英語の教科書を使うなどして、臨床医学英語能力を高めることに努力を惜しまないようにしてほしい。

*今後の状況(COVID-19 の感染拡大)によっては、さらに選考スケジュールや実施内容・実施期間を変更する可能性もありますので、その場合は keio.jp ポータルサイトにてお知らせします。

*外務省の感染危険レベルがレベル2（不要不急の渡航は止めて下さい）から引き下げられるまで、その国・地域への渡航を原則禁止とします。

【問合せ先】：信濃町キャンパス国際担当（総合医科学研究棟1S4）

（メール：ic-shinanomachi@adst.keio.ac.jp）